



シーレックスグループは常に「“かけがえのない地球”の環境と資源を健全な状態で次世代へ引き継ぐことは私たちの責務」とし、環境と調和した循環型社会をめざし、グループ全体が共通認識のもと環境保全活動を推進しています。

## ● 環境マネジメント活動

私たちは、1999年4月にISO14001の認証を取得して以来、環境保全活動を重要なテーマとして取り組んでいます。関連会社を含めた11事業所で環境マネジメントを推進しています。



**QMS、EMS**  
ISO 9001  
ISO 14001  
JSAQ1406、JSAE109

### 『環境経営の推進』

2009年の経営方針に『環境経営』を掲げ、全員で取り組んでいます。

『環境経営』とは、製品開発・設計から生産・販売の全ての部門で徹底したムダ（経費と資源、エネルギー）を排除し、会社に埋まった『利益』を掘り起こしていくことです。

『環境経営行動基準10か条』を設定し、REDUCE（リデュース）活動を全員で推進しています。事業所毎に毎月のリデュース結果をグラフ化した「グリーンコミュニケーション」を発行し、全員で取り組みました。

## ● 環境教育

社内報【みな知ール】環境化学物質管理編



## ● チャレンジ25

### 【環境提案】

毎年、7月を環境提案月間と定め、従業員からいろいろなアイデアを募集しています。2009年度は「ムダ」を取り除く、「リデュース（減らす）」をスローガンとしました。生活に根ざした提案も含め50件の募集があり、環境経営の推進に効果を上げました。

### 【クールアースディ】

クールアースディは、地球温暖化防止のための新たな国民運動『チャレンジ25キャンペーン』。毎年6月21日（夏至の日）と7月7日（七夕）を「CO2削減ライトダウンキャンペーン」として、夜8時～10時までの2時間の「ライトダウン」を従業員に呼びかけています。

ン」として、夜8時～10時までの2時間の「ライトダウン」を従業員に呼びかけています。

### 【クールビズ・ウォームビズ】

温室効果ガス削減のために、オフィス内の温度を夏場は28℃、冬場は20℃に設定しています。

オフィスで少しでも快適に過ごすために、シーレックスはクールビズとウォームビズを積極的に取り入れています。社内での服装は、年間を通して、ノーネクタイを推奨しています。



## ● 化学物質管理

世界中で輸入・輸出に対する規制が厳しくなる中、シーレックスでも使用禁止化学物質の管理については十分配慮おこないます。法令の遵守は勿論のこと、お客様の要求にお応えできる管理体制を今後も整えてまいります。



### 化学物質

**REACH規制(新化学品規制)**

**RoHS(有害物質使用規制)指令**

## ● グリーン購入の推進

私たちは、会社で使う文房具や備品の購入には、環境に負荷の小さい製品を優先的に購入しています。

自社基準として『シーレックスグリーン購入ガイドライン』を策定し、その中より購入業者や環境配慮型製品を選定し、それを使用しています。



## ● エコドライブ推進

ECOドライブガイド10のカードを作成でエコドライブを推進しました。エコドライブチェックで燃費UPの啓蒙を行い、ガソリン使用量のREDUCE(リデュース)に寄与しました。



## シーレックス環境方針

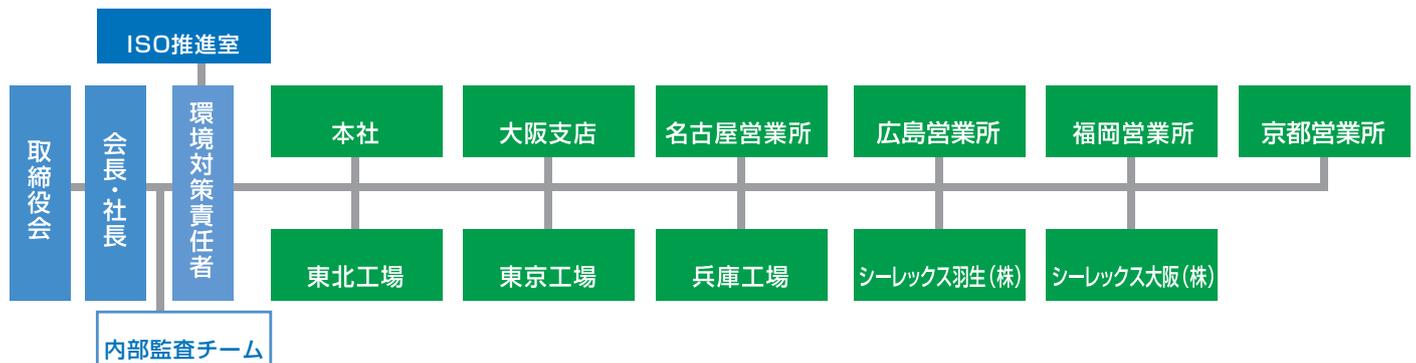
### ○ 基本理念

シーレックスは常に「かけがえない地球」の環境と資源を健全な状態で次世代へ引き継ぐことは私たちの責任であり、義務である」を念頭におき、環境と調和した循環型社会をめざし、事業活動のあらゆる面で、環境保全に配慮し行動します。

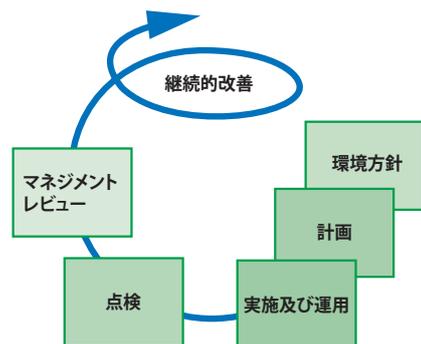
### ○ 基本方針

1. シーレックスは事業活動において地球環境の保全を推進するため、組織を整備します。
2. 事業活動が環境に与える影響を捉え、技術的、経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定め、環境保全活動を推進し、継続的改善を図り、環境汚染の予防に努めます。
3. 環境関連の法律、規制および協定などを遵守するとともに、自主管理基準を設定し環境保全に取り組みます。
4. 事業活動の全領域で省エネルギー、省資源、リサイクル、廃棄物削減に取り組みます。
5. 環境に配慮した商品づくりおよび技術開発を行うとともに、グリーン調達の推進を図ります。
6. 環境監査を実施し、環境管理の維持向上に努めます。
7. 環境教育を実施し、全社員の環境方針の理解と、環境に関する意識向上を図ります。
8. 社会とのコミュニケーションに努め、地域社会の環境活動に、積極的に貢献します。

## ● 環境マネジメントシステムの推進



## ● PDCAサイクル



ISO14001環境マネジメントシステムモデルは組織がその環境方針を確立し、実施し、維持することができるようにする継続的な繰り返しのプロセスであります。

Plan: 継続的な計画のプロセスを確立する

Do: 環境マネジメントシステムを実施し運用する

Check: 環境マネジメントシステムプロセスを評価する

Act: 環境マネジメントシステムを改善するためのマネジメントレビューを実施する

## ● エコプロダクト ・環境配慮型製品

BPペレット製品 ・ 生分解性プラスチックフィルム ・ 再生可能剥離紙



### 【BTペレット製品】

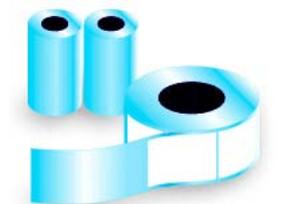
BTペレットは、「資源米」、「もみ殻」、「木粉」などの国産有機資源を主原料とし、ポリプロピレンを加え、特殊技術にて合成する純国産バイオマス。再生可能な植物であり、国内で利活用されていない有機資源を主原料としているので、石油相場に影響される従来のプラスチックとは違い、安定供給が可能です。もちろん、カーボンニュートラルで焼却処理された場合でも、CO2の排出量を削減し、また石油資源の使用量を節約することができます。

### 【生分解性プラスチックフィルムラベル】

ラベル素材と糊の両方が植物由来の原料をベースに作られています。そのため、石油などの枯渇資源である化石資源の保護に貢献します。また、焼却時に有害物質を発生する危険がなく、使用熱量やCO2発生量も抑制し、さらに廃棄後の環境負荷も軽減します。

### 【再生可能剥離紙】

ラベルを使用した後に残る剥離紙は、ポリエチレンがラミネートされているために再生できず、産業廃棄物として扱われてきました。しかし、再生可能剥離紙は新聞・雑誌と同じく、一般の古紙として再生処理が可能です。産業廃棄物の削減、リサイクル推進の観点から注目を集めています。



## ● 環境ビジョン2009年度評価

シーレックスは、環境方針の基本理念を達成するために具体的な目標を立て取り組んでいます。

評価基準：数値化目標については下記の基準で評価

S：目標を十分に達成した A：目標を達成した B：目標が達成できなかった C：目標を大きく下回った

方針	目標	評価
法規制の遵守	水質検査を定期的に行い、水質基準を守る	A
	騒音・振動の定期測定を行い、基準を守る	A
	特別管理産業廃棄物の管理を継続的に行う	A
	使用禁止化学物質の購入管理を継続的に行う	A
産業廃棄物の削減およびリサイクル率の向上	排出量を売上げ原単位で2006年度対比5%削減する	A
	リサイクル率を98%以上にする	A
省資源の推進	材料在庫金額を2007年度対比25%削減する	A
	製品在庫金額を2007年度対比20%削減する	A
環境配慮型製品の拡販	多層ラベルの販売額を2006年度対比10%増やす	B
グリーン購入・調達推進	グリーン購入ガイドラインに沿って購入を行う	A
	再生可能剥離紙の使用を2006年度対比10%増やす	B
CO <sub>2</sub> の削減	CO <sub>2</sub> の排出量を売上げ原単位で2006年度対比3%削減する	A

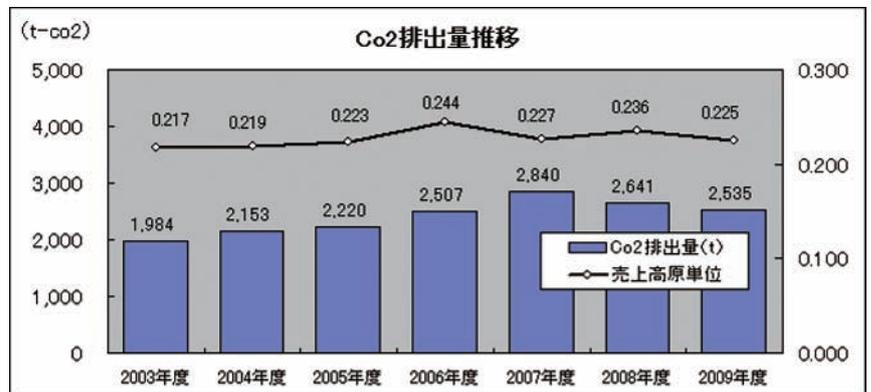
省エネルギー・省資源をはじめとする環境負荷の低減に取り組んでいます。

## ● 省エネルギーへの取組み

2009年度のCO<sub>2</sub>の排出量は前年対比で約4% (106t-co<sub>2</sub>)の削減ができました。売上げ原単位においても目標に対して107.9%と大きく達成することができました。今後も引き続き、こまめな節電やエコドライブを推進し、低炭素社会への貢献に取り組めます。

CO<sub>2</sub>の算出は環境省の計数に基づく。

エネルギー：電気・ガソリン



## ● 廃棄物の再資源化への取組み

シーレックスは、“産業廃棄物の削減”と“リサイクル率98%以上”を目標に取り組んでいます。工場から排出されるゴミは、徹底した分別管理を行うことにより、固形燃料(RPF)や有価物として生まれ変わります。これらは、再び資源として活用されています。

今年度もリサイクル率98.2%と高い結果を維持することができました。

排出量は、前年比89.0%(▲144t)。売上げ原単位目標も107.8%と達成することができました。今後も継続して、リサイクル率の維持と廃棄物の排出量の削減に取り組んで参ります。

